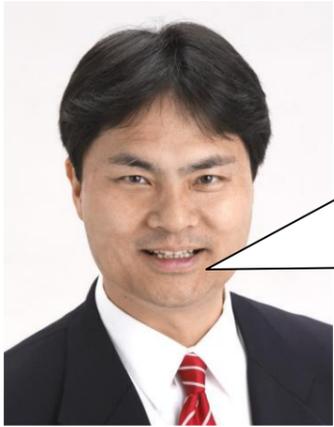


小池としあき後援会だより

平成 25 年 1 月 1 日発行 発行人：勝亦正人（通算第 23 号）



小池としあきが、11 月定例議会で、 23 回目の一般質問に臨みました！

明けましておめでとうございます。
今回の議会では、一昨年（2023）の 9 月議会に引き続き、「**産業都市・富士市の基幹インフラである電力の地産地消について**」をテーマに質問しました。
東電の電気料金値上げは、電力大消費地・富士市にとって大きな打撃です。安く、安定した電力確保の方法を、真剣に考えなくてはなりません！

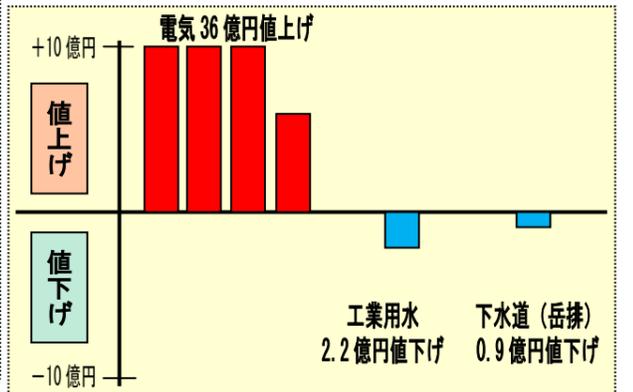
質問 1 東電が行っている本年 4 月からの企業向け電力料金の値上げと影響について ・・1kWhあたり一律約 2.5 円の値上げとなったが、市内企業への影響と対策は？

① 長年要請し、今年から二部料金制となった県工業用水の値下げ分が 2.2 億円/年、市が目玉施策としている岳南排水路の使用料の値下げ分が 0.9 億円/年に対し、今回の電力値上げ分は市全体で年間どの程度か？

→（市長）60 億円/年程度と見込まれる。

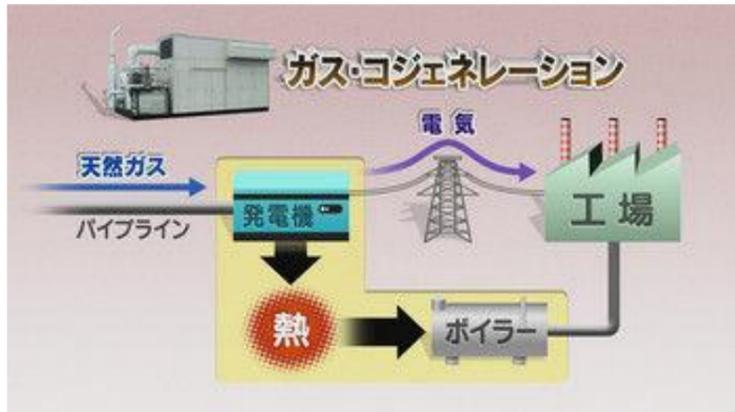
② 主要産業の製紙業分だけでも 36 億円/年もの負担増が見込まれ、県工業用水、岳排の値下げが「焼け石に水」。緊急対策として、県庁が中部電力管内（静岡市）にあり危機意識が実感として薄い「静岡県」に対し、実情の訴えと融資制度の拡大・充実の要請を行うべき。

■製紙業に關係する電気・工業用水・下水道(岳排)料金の富士市内年間値上げ・値下げ影響総額



質問 2 県と進めている「分散型エネルギーシステム推進協議会」について ・・協議会で目指しているコージェネレーションによる余剰電力の融通・活用の見込みは？

■天然ガスコージェネレーションのイメージ



① コージェネは、富士市だからこそその取組みだが、電気と熱の両方を使い切って初めてコスト的に東電の電力と対抗できるものであり、また供給量的にも限界があると考えるが、その見通しは？

→（市長）余剰電力やコージェネ設備のみでは、本市全ての電力需要に応じることは困難。当面の目標として現在の余剰電力を活用する仕組みを作り、その成果を検証した上で発電事業者、需要家に協力を求め、拡大に向けて取り組んでいきたい。

② それでは地元企業は、東電の高い電気を買いつけることになる！

質問 3 高効率発電所の新規設置について ・・コージェネシステム導入と並行して、高効率発電所の誘致を進めるべきでは？

① 今後、継続して東電の再値上げが想定される中、大量の電力を使用する富士市としては、安定した基幹電力を地元で供給できるよう高効率発電所を誘致すべきでは？

→（市長）（国の方針が定まっていない）現段階ではそうした考えは持っていない。

② 大規模な発電所でなければスケールメリットが働かないので、富士市単独でなく、多くの工業団地等を抱える富士宮、御殿場、裾野市等が入った県東部地域＝東電管内の「富士山ネットワーク会議」の中で議論すべきでは？

→（市長）ネットワーク会議の中で「エネルギー問題」として検討したい。

■参考事例・・・川崎天然ガス発電所

- ・出力 85 万 kw（原子力発電所 1 機分に相当）
- ・敷地面積 6 ha、冷却水使用量 20,000 トン/日



富士市には、清水港の基地（袖師）から天然ガスがパイプラインで供給されています（上写真）。



琵琶湖畔で一週間の財政研修 (10/15～19) ● 「財政がわからなければ議員は務まらない」と3年前にこの研修に参加し、それがきっかけで改めて「財政」を勉強し始めました。今回も昼は講義形式、夜は全国各地から参加した市や町の議員の皆さんとの意見交換で密度の濃い研修でした。成果をしっかりと活かしたいと思います。



鉄道廃線跡を走る専用バス「BRT」を視察 (10/25～26) ● 本年度所属している議会の建設水道委員会で、かつて鉄道(鹿島鉄道)が走っていた跡地をバス専用道路として運行している「かしてつバス」(茨城県石岡市等)を視察しました。岳南鉄道の今後のあり方を検討する上で、このBRT方式を参考にするためです。私としては、岳鉄は「鉄道として使って活かすべき」との感を深めました。



所属する会派・市民クラブで25年度重要施策要望書を市長に提出 (11/5) ● 次年度予算編成作業が行われるこの時期、毎年市民クラブで市長に要望書を提出しています。私は一般質問で取り上げた「公共交通網整備」、「公共施設マネジメント計画の策定」等を担当しました。来年2月議会で予算案にどう反映されるか期待したいと思います。



駿河台三丁目自主防災会で応急救護訓練研修会(11/8・14) ● 昨年から始めた応急救護訓練研修会ですが、今年は計2回の研修を1回目は組長さん全員、2回目は希望者に分けて行いました。私も2年続けて受講しましたが、三角巾の使い方をほとんど覚えていないことに唖然としました。定期的な訓練の必要性を改めて感じました！



「全国紙バンド作品展 in 富士」のお手伝い (11/10) ● 3年ぶりに紙バンド作品展のお手伝いをしました。植田産業さんが毎年開催し今年で8回目です。体験教室では来年の干支の「へび」を作りました。私はその受付係です。朝早くから大勢の方が並び、地場産業の紙バンドが、富士市発の紙文化・芸術として拡がりつつあるのを感じます。



第36回全国育樹祭に参加 (11/11) ● 皇太子殿下をお迎えしてエコパアリーナ(袋井市)で開催された全国育樹祭に参加しました。10年前に行われた「全国植樹祭」を引き継いで、県民あげて豊かな森林を育てていくのが目的です。遠い席でメガネも忘れたので殿下はよく見えませんが、参加者に対する厳しい検問体制には驚きました。



2年目を迎えた富士市議会の議会報告会 (11/12～19) ● 36人の議員が6人×6班に分かれ、市内各地区に出かける議会報告会です。2年目の今年は、映像を使いわかりやすかつつもりですが…。私は岩松北地区に出かけました。この時期は前年度の決算等が中心ですが、回数を増やし、予算報告等も行いう必要性を感じます。



隣接する駿河台二丁目とともに冬の防災訓練 (12/2) ● 私が自主防災会長を務める三丁目では、今年は各組で最寄りの消火栓を使った訓練を行いました。私の組合は隣の二丁目にある防火水槽等が最も近いので、二丁目との合同訓練となりました。消防団(5分団)の皆さんの指導を受け、マンホールの開閉やホースの接続等を訓練しました。



9月下旬の草刈り

10月中旬の「菜の花」の種まき

菜の花も順調に育ってます

11月下旬の河原での「芋煮会」

津田・荒田島の有志で取り組む小潤井川の草刈り・清掃活動 (9～11月) ● 昨年からは津田・荒田島地区の有志の皆さんと始めた活動も2年目となりました。「小潤井川 友の会」と名付け、6月、9月に草刈り・清掃を行い、10月には「菜の花」の種まきを、そして11月には河原での「芋煮会」を楽しみました。来年4月の「吉原さくら祭り」の際には、旧国1を超えて南側にお越しください。黄色い「菜の花」が満開になっているはずですよ！